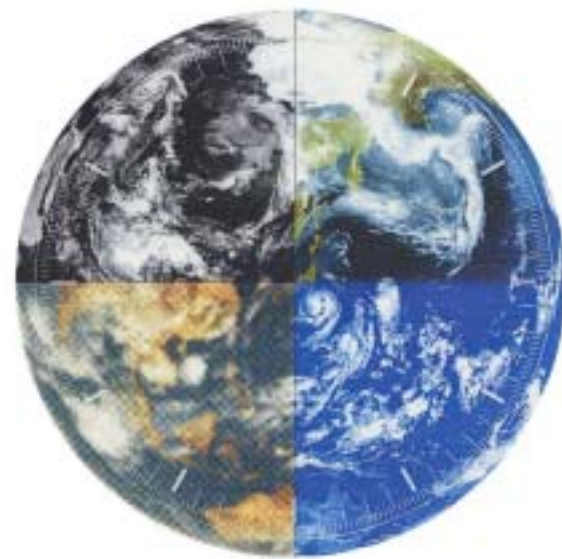




**よりよい大気をめざして
自動車と燃料のさらなる挑戦**

JCAP II 活動概要

**平成15年11月12日
JCAP推進部**



JCAP II 事業の概要

1. 目 的: **ゼロエミッション及び燃費向上を目指した自動車技術に必要な燃料技術を明らかにし、低公害化のポテンシャルを見極める。**
2. 予 算: **56億円(5年間・予定) 内補助金44億円**
3. 期 間: **平成14～18年度**
4. 関係者: **約100名**
5. 体 制
 - ・ **PEC: 事業の統括／車両・エンジン試験の実施／大気モデル開発研究の実施**
 - ・ **石連・自工会: 資金負担**
 - ・ **自動車会社: 技術の提供／一部研究の分担**
 - ・ **石油会社: 技術の提供／一部研究の分担**

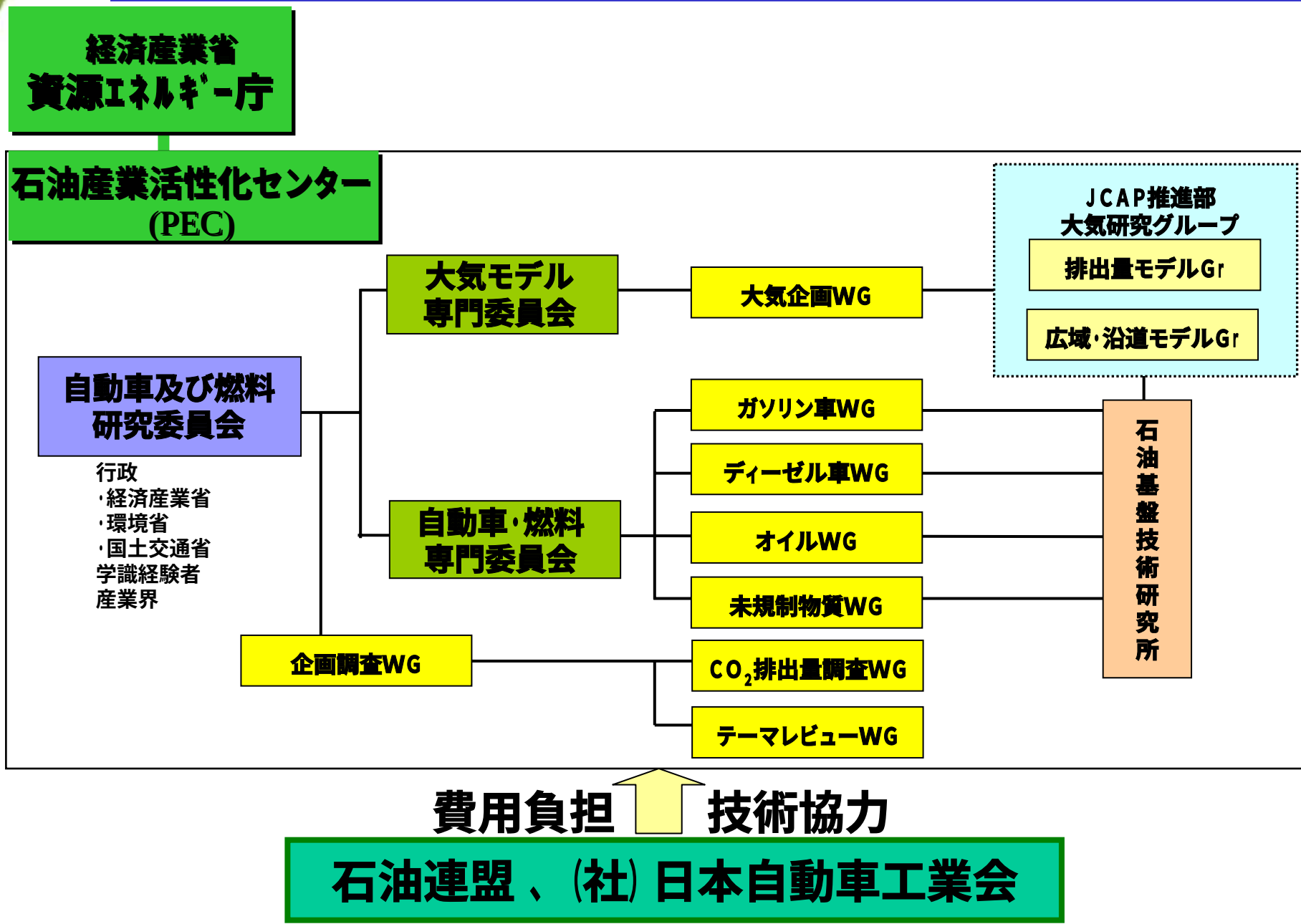
①自動車・燃料技術研究

- ゼロエミッションをめざした最先端ガソリン車/ディーゼル車技術と燃料/オイル性状の評価
- 排出ガスとCO₂低減ポテンシャルの評価
- 微小粒子計測法の調査と最新計測法で最先端技術の評価

②大気モデル研究

- リアルワールド排出量推計モデルの構築
- 広域大気モデルと沿道大気モデルの統合モデル構築
- 統合大気モデルの評価とケーススタディ

JCAP IIの推進体制



行政に対するJCAP IIの役割

環境政策・エネルギー政策に資するデータの提供

環境政策 = エネルギー政策

石油需給・品質の見通し

自動車排ガス低減等の
大気改善効果の予測

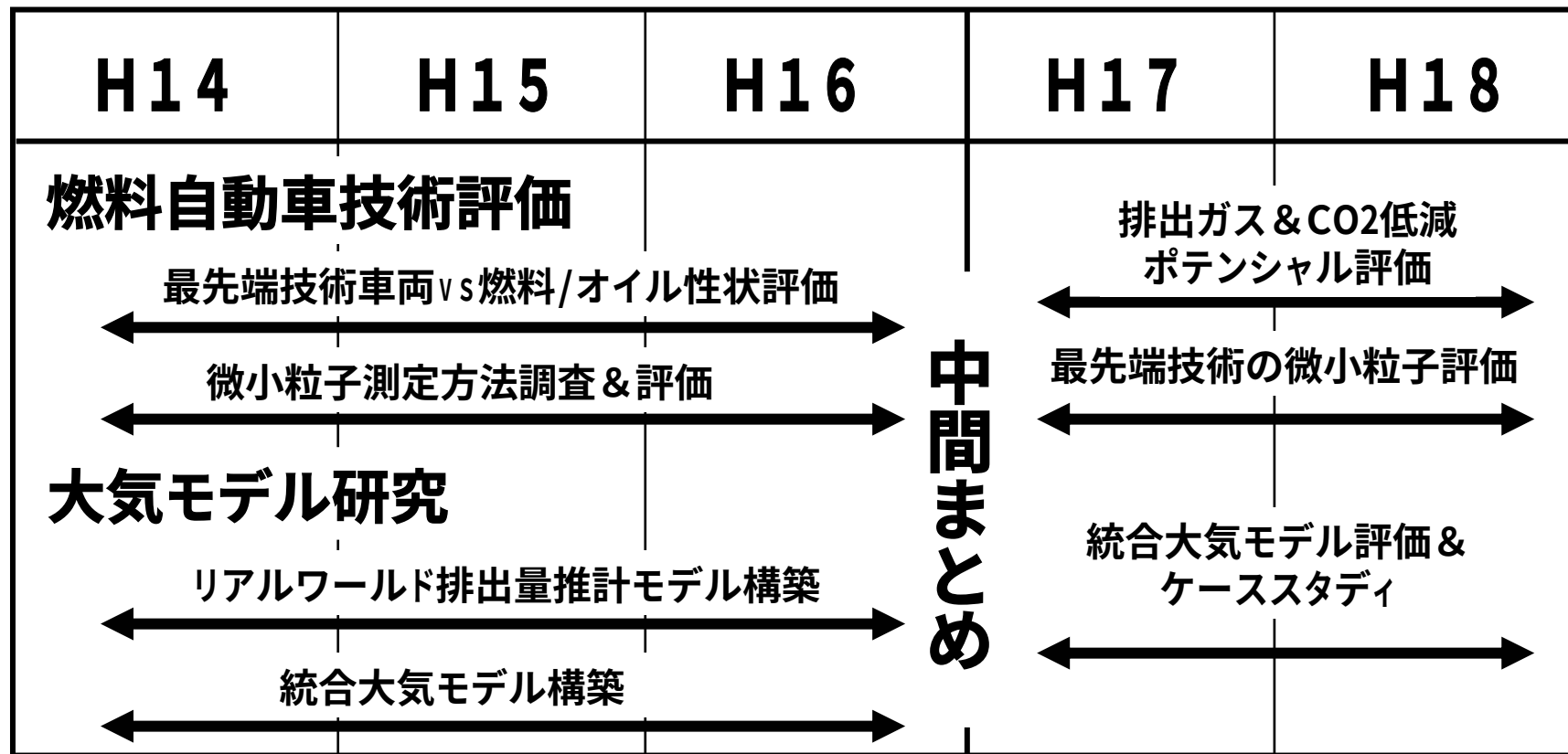
将来自動車の方向性と
それに必要な燃料品質の見極め

政策評価が可能な
高精度大気モデル研究
とデータベース構築

リアルワールドの
将来排出量推計

ゼロエミッションを目指した
自動車技術と燃料技術の
研究 (CO₂対策との両立)

JCAP II 研究計画スケジュール



活動状況のトピックス

①ガソリン・軽油の硫黄分10ppm以下（サルファーフリー）による エミッション及びCO₂低減効果の把握

→総合資源エネルギー調査会 石油分科会石油部会石油製品品質小委員会で 報告し、2005年以降のサルファーフリー燃料導入に反映された。
(H15/4)

②連続再生式DPFの目詰まりに及ぼすオイルアッシュ影響の把握

→エンジンオイルガイドライン「DH-2」の作成に反映された。(H15/5)

③微小粒子測定装置のクロスチェックによる測定精度の把握

→GRPE-PMPの粒子計測法に関する検討に活用された。(H15/8)

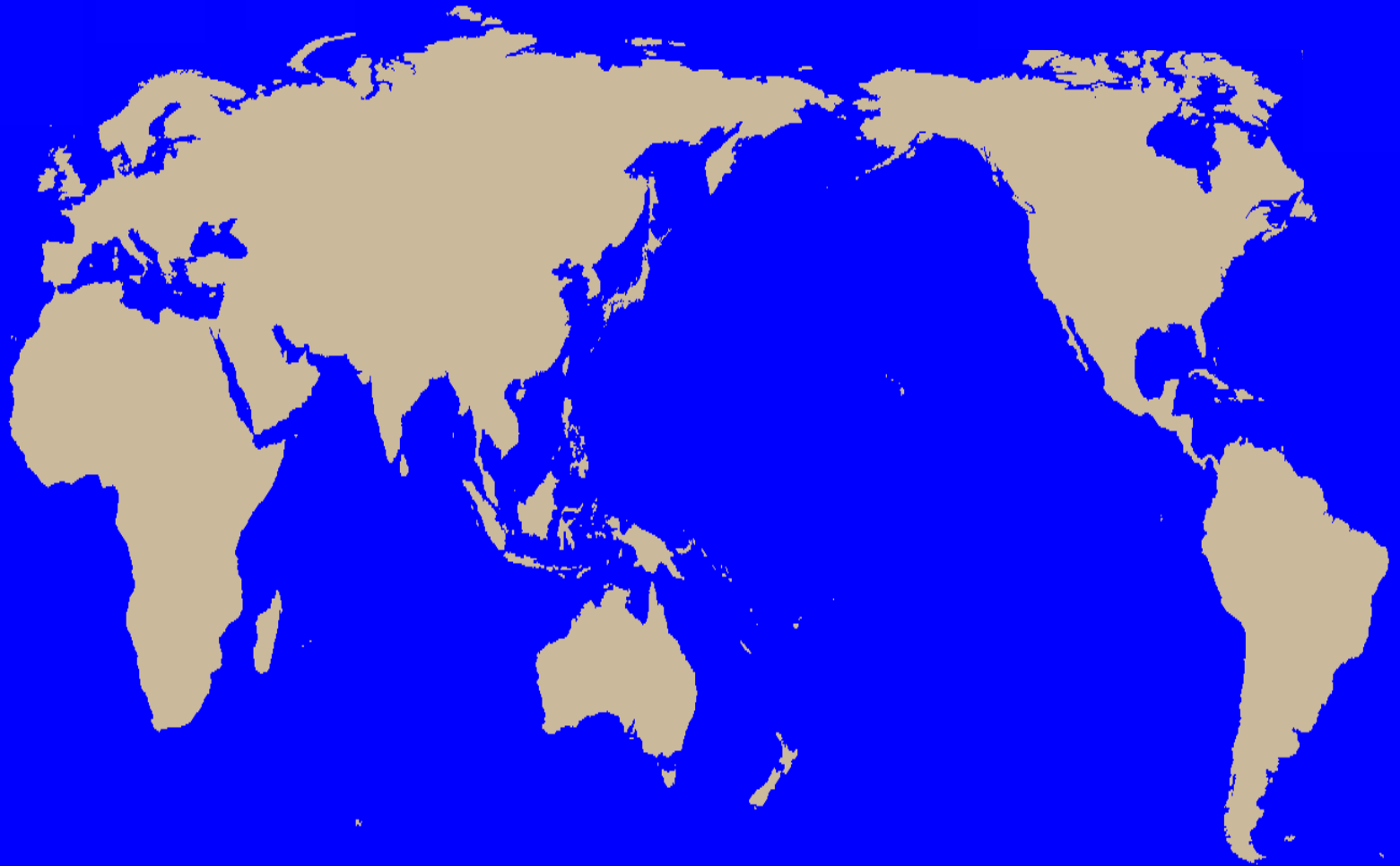
④JCAP I で開発した大気モデルを公開

(H15/9)

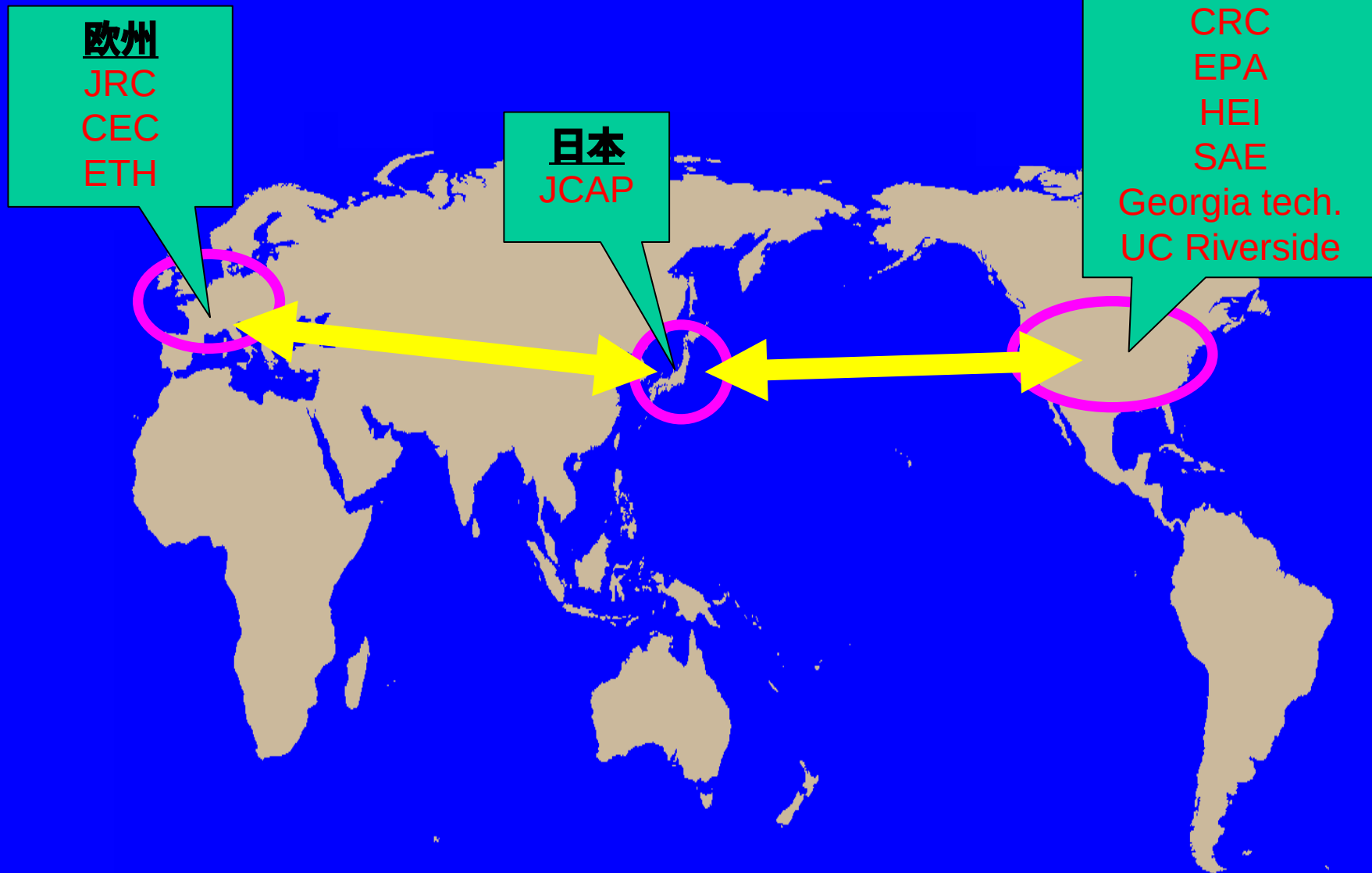
⑤JCAP I 燃焼解析の技術論文が、SAEの「Harry L. Horning Award」を受賞

(H15/10)

海外との技術交流



欧米との技術交流



アジアへの発信

